

「新・やまがた農業人」紹介



稲垣 哲郎 さん 東根市で就農

【出身地】東京都

【就農前の職業】会社員

【就農年度】平成14年度(平成13年度、1年間研修後独立)

【経営概要】りんご 55a、さくらんぼ 43a、西洋なし 30a、
桃 10a

山形県での就農の動機や考え方

子供の頃から、自然と里山の魅力に感動し、作物を育てることに憧れ農業をしたいと思っていました。人に雇われるより、自分の責任で仕事をしたいと考えていました。りんご農家に憧れ、山形に住みたいという気持ちが年々強くなり、就農を決意しました。

就農して良かったことは、自然と季節を感じながら働けることや収穫の喜びがあることです。そして、良い果実を生産すれば農協や市場で販売してくれることなどです。

就農して、特に苦労したことは農地の取得です。新しく農業に参入した人に農地を貸してくれる人は中々いないので、機会をとらえて声掛けを続けてきました。指導農家や周囲の農家に認めってもらうことが重要です。

果樹栽培は労力がかかり省力化が重要になるので、雇用は毎年来てくれる人を見つけることが大事です。

就農に当たっては資金の準備が大切です。また、技術や経営管理のマスターも必要です。見習先を見つけ、周囲や関係者と交流し情報収集することや研究会への参加が有意義です。